

# 日本語学習における日本語の歌使用の研究

ジョグジャカルタムハマデイヤ大学

日本語教育学科 2016 - 2017 二年生における実施

Nuarita Silvia Wati

20130830059

## 要旨

本研究のタイトルは日本語の授業において、メディアとしての歌利用を、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学の日本語教育学科の二年生（4 学期生）に実施したことを記述的にまとめた研究である。本研究の大切なポイントはジョグジャカルタムハマデイヤ大学の日本語教育学科の二年生に中上級聴解の授業にて、歌のメディアを使用することである。

まず、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の中上級聴解ではどのように歌を使用するか。つぎに、歌を利用し、学生の反応はどうであるかを探る。

本研究では、記述的方法を使う。データは授業参観とアンケート、インタビューからとった。六つの歌を使用する。三つの歌は教師から、三つの歌は学生から。授業で歌を使用することは、学生の反応には異論もあるが、一般的に学生の反応は良いものである。

キーワード : 歌のメディア、日本語の授業、中上級聴解

## 1. 序論

日本語において学習能力は四つある、たとえば作文、読解、聴解、と会話である。日本語の授業に授業のメディアは大切な事である。授業のメディアはたくさんある。たとえばオーディオのメディアである。中上級聴解において、歌とニュースと「*Minna No Nihongo*」のオーディオのメディアを使う。しかし、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学の日本語教育学科の 2016-2017 年度二年生に、歌のメディアを中上級聴解授業にて使う。

2016 年、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学の日本語教育学科の研究のプロポーザル発表の結果、研究について歌のメディア利用は聴解授業にはなかった。ですから、研究者は聴解の授業において歌のメディア利用を行い、分析したいと考えた。

この研究では、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の中上級聴解ではどのように歌を利用するか。つぎに、歌を利用し、学生の反応はどうであるかをさぐる。

Tarigan (2008 : 31) は「聴解」ということは、情報を得るためには、注意、理解、感謝、解釈が必要で、コミュニケーションの目的は話し手が何を話したか理解することである。定性研究と定量研究である。Widiastuti (2010)と Handayani (2011)と Kumalasari (2011)と Kirana (2014)と Yuliyanti (2015)によって、歌のメディア研究が行われた。しかし、それらの研究については歌のメディア利用に聴解がない。先行研究より、次の三つポイントができる。

- a. 歌のメディアは一番オーディオのメディアと関係し、聞き取りからである。Kirana(2014)によって、歌はドイツ語のような外国語の習得に適切である。
- b. Widiastuti (2010)と Handayani (2011)と Kumalasari (2011)と Kirana (2014)と Yuliyanti (2015)によって、歌のメディア研究は授業に効果的である。

- c. しかし、Widiastuti (2010)と Handayani (2011)と Kumalasari (2011)と Kirana (2014)と Yuliyanti (2015) による先行研究によれば、もし、情報がなければ、歌のメディア使用による応答は応答者からない。

## 2. 本論

### a. データおよび研究の方法

研究方法は定性的叙事的である。叙事的日本語の授業でジョグジャカルタムハマデイヤ大学の日本語教育学科の二年生の4学期に、歌のメディアを利用する場合の叙事的研究である。二年生の答えについて歌のメディア利用を知る。研究の過程は研究の以前、研究の実現、データの加工、結びである。研究のデータ収集はドキュメンテーションと観察とアンケートとインタビューである。データの分析は六回のミーティングよりドキュメンテーションと観察とアンケートとインタビューのデータである。

### b. 分析の結果と考察

教材にとって、歌は教師と学生が選択した。歌メディアは六回使用する、タイトルは違う。利用する歌は Lovin Life と風になる、なんでもないや、がけのうえのポニョ、Silhouette、Change The World である。一回の使用で歌は三回プレーがある。

学生によると、三回の使用だけで歌はとても難しいといわれている。学生によって、五回と六回の使用で授業の活動はとてもたのしかった。

## 3. 結び

この研究では、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の中上級聴解ではどのように歌を利用したか、また、学生の

反応はどうであったかをさぐった。しかし、研究者は問題の分析の研究をまだ調べ終わっていない。これに対して、歌のメディアを使用することについては、全体的に学生の反応は良かった。

#### 参考文献

- Handayani, Ratih Kanthi. 2011. *Pengaruh Pembelajaran Media Lagu Terhadap Kemampuan Menulis Puisi Ditinjau Dari Pemahaman Bahasa Figuratif*. Skripsi jurusan Pendidikan Bahasa dan Sastra Indonesia : tidak diterbitkan
- Kirana, Dita Zahra. 2014. *Keefektifan Media Lagu Pada Pembelajaran Keterampilan Berbicara Bahasa Jerman Peserta Didik Kelas X di Madrasah Aliyah Negeri Purworejo*. Skripsi jurusan Pendidikan Bahasa Jerman Fakultas Budaya dan Seni : tidak diterbitkan
- Kumalasari, Novi Deriska. 2011. *Efektivitas Media Lagu Dalam Meningkatkan Penguasaan Hiragana Siswa Kelas X SMA Negeri 1 Temanggung*. Skripsi Jurusan Bahasa dan Sastra Asing Fakultas Bahasa Dan Seni UNNES : tidak diterbitkan
- Tarigan, Henry Guntur. 2008. *Menyimak*. Bandung : Angkasa
- Widiastuti, Meinita Nur. 2010. *Pemanfaatan Media Lagu, Gambar, dan Permainan untuk Peningkatan Prestasi Siswa Dalam Pelajaran Bahasa Mandarin di TK Siloam Surakarta*. Skripsi Widiastuti jurusan Bahasa China Fakultas sastra dan Seni Rupa : tidak diterbitkan
- Yuliyanti. 2015. *Penerapan Media Audio Lagu Untuk Peningkatan Hasil Belajar IPS Siswa, Penelitian Tindakan Pada Kelas II SD Muhammadiyah 12 Pamulang*. Skripsi Yuliyanti jurusan Pendidikan Guru Madrasah Ibtidaiyah Fakultas Ilmu Tarbiyah dan Keguruan : tidak diterbitkan
- Yuliyanti. 2015. *Penerapan Media Audio Lagu Untuk Peningkatan Hasil Belajar IPS Siswa, Penelitian Tindakan Pada Kelas II SD Muhammadiyah 12 Pamulang*. Skripsi Yuliyanti jurusan Pendidikan Guru Madrasah Ibtidaiyah Fakultas Ilmu Tarbiyah dan Keguruan : tidak diterbitkan